



第5章 計画の推進

本計画をどのように推進し、進捗管理・事業評価していくかを説明します。

1 推進体制

●市の責務

文化芸術活動の主役は「市民」です。従って、本市は市民の主体性・自主性を十分に尊重しながら、文化芸術施策を推進していきます。また、施策の推進にあたっては、市民、文化芸術団体、芸術家、文化施設、その他文化芸術と関連のある分野の機関等も含めて連携・協力しながら推進していきます。

●本計画における「ミリカローデン那珂川」の役割

ミリカローデン那珂川は、本市の文化芸術振興の拠点として、次のような方向性で事業運営を行っています。

[ミリカローデン那珂川の事業運営の方向性]

●基本となる事業運営

- ・文化芸術事業だけでなく、生涯学習事業、図書館事業を行う複合文化施設としての特徴を活かし、それぞれの事業の融合による、更なる文化芸術の可能性を追求する
- ・本市の文化芸術に対する市民の関心を高め、その価値を伝え次代に継承していく
- ・文化芸術を通じて、世代を越えた交流をつくる
- ・文化芸術の視点で、ミリカローデン那珂川を拠点に様々な企画を立案・実践する人材の育成に取り組む

●ミリカローデン那珂川リニューアル事業のコンセプト(第2章P7「PICK UP」参照)を踏まえて

- ・文化芸術を通じて、多様な背景を持つ市民が仲間を見つけ、色々なアイデアを出し合い、ミリカローデン那珂川の中だけでなく地域に出て活動する等、出会いと活動の連鎖により、一人一人が尊重される場が生まれる仕組みをつくる
- ・リニューアルにより、若い世代の来館が増えていることから、若い世代の自由なアイデアを事業にも活用することで、若い世代が文化芸術に触れることができる機会を広げる
- ・施設の持つ可能性を最大限に発揮し、多様な文化芸術の在り方を追求し、利用者や市民へ提案することで、本市における文化芸術活動の充実・発展に取り組む

さらに本計画を踏まえて

本計画で示す市全体の文化芸術推進の動きを見据えて事業運営をしていき、文化芸術振興拠点としての役割をさらに充実させていきます。文化芸術に触れる機会の充実や文化芸術活動を通して交流ができる場所、文化芸術を身近に感じてもらえる場所となることを目指します。